



地産地消で母の味

のびる
 有限会社 たからべ野火留
 代表

岡元 のぶ子 さん

(有) たからべ野火留は、旧財部町から支援を受けた特産品開発グループで、平成16年12月に法人化し会社になりました。

毎日「がね」を三百個揚げるほか、「味噌」や「めんつゆ」(混ぜ)すしの具」等の加工品を道の駅や都城市内のスーパーで販売をしている会社です。

岡元さんは、二代目の代表です。先輩方が築いたものを受け継ぎながらも、お客さんが喜ぶものを作って行きたいと、時代の変化やいろいろな方の声を大切にしているとのことでした。

取材中、岡元さんは、周囲の方々への感謝のことがばを何度も口にされていました。

このコーナーは、曾於市に住む鹿児島県男女共同参画地域推進員が、曾於市のいろいろな方にインタビューするコーナーです。

社長という立場になって感じたことはどのようなことですか

いろいろな人と繋がりを持つことができませんでした。注文があっても材料がないと作れません。原材料の確保は大変です。一年中使うサツマイモやごぼうなど市内の農家の協力があって助かっています。

また、大量に加工や仕込みをするときやイベントがあるときなどに手伝いに来てくれる方がいます。農家やお店の人、生活研究グループの人たち、従業員や手伝いに来てくれる人に巡り会うことができ、支えられて仕事ができます。

仕事についてどのように思われますか

仕事は大変ですが生きがいです。仕事があるから元気にいられます。家族の介護や家の仕事をしながら仕事を続けることは大変です。その点で、私の家族はとても協力してくれて

います。夫の理解なしには仕事はできなかったと思います。家族のおかげで仕事ができ、元気にしていられます。

地域活動に取り組んでいますか

地域活動というわけではありませんが、地元の野菜をできるだけ使っています。また、道の駅や地元でのイベントがあるときなどは出店して「がね」や「厚揚げ」などを販売します。最近は、「がね」を知らない人もいます。こういういった郷土料理を家庭でも味わって欲しいですね。

(取材 県男女共同参画地域推進員 島子正一郎 末永順子)

お問い合わせ先

企画課 男女共同参画係

☎ 0986・76・8802